INAX

保証書付

（別添）

スカンジスパ

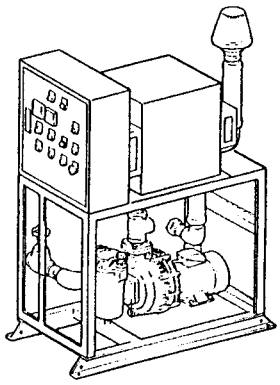
気泡ユニット

JB-602　JB-603
JB-502　JB-503

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。



もくじ

特長…… 1
各部の名称…… 2
安全のため必ずお守りください…… 4
故障を起こさないためにお守りください… 7
入浴者にお知らせしていただきたいこと… 8
作動原理…… 10
ご使用前に…… 11
● 使用する電源はOKですか？…… 11
● 浴槽に水（湯）は入っていますか？…… 11
● バルブは開いていますか？…… 11
ご使用方法…… 12
お手入れ…… 13
● ヘアーキャッチャー…… 13
● エアーフィルター…… 14
凍結の恐れがある場合…… 15
● 凍結の恐れがある場合…… 15
● 長期間使用しない場合…… 15
● 再び使用する場合…… 16
故障かなと思ったら…… 17
アフターサービスについて…… 19
仕様…… 20

特　長

"スカンジスパ" の気泡ユニットは、大型気泡浴槽のジェット・エアーブロー機能を供給し、リゾート気分を満喫させて、真のリラクゼーションを提供します。

体の芯から温まる温熱作用

お湯が常に動いていることで、通常の入浴より湯温を高く感じる温熱作用があるので、体の芯まで温まります。
また気泡の効果により、疲れをほぐしてくれます。

新陳代謝を促すマイクロマッサージ

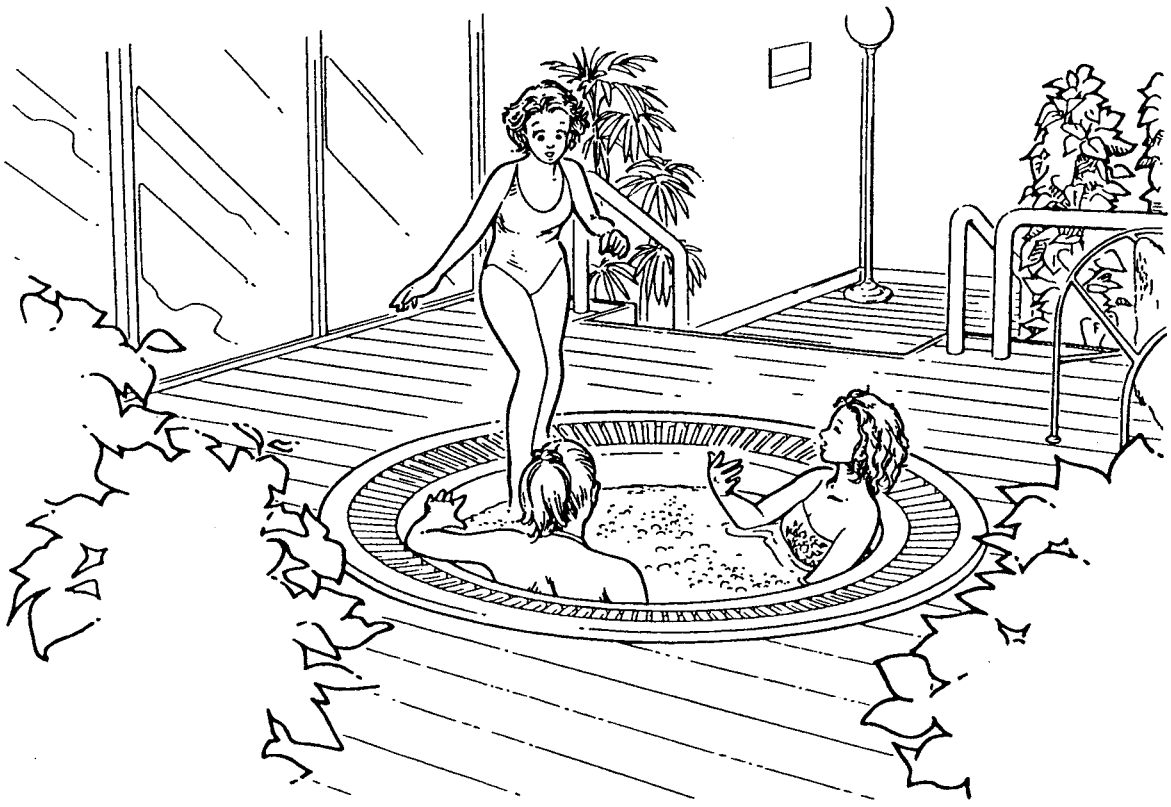
ジェットとエアーブローで柔らかく肌をマッサージすることにより、血の巡りをよくし、新陳代謝を促します。

圧力異常から機器を守る空運転防止機能

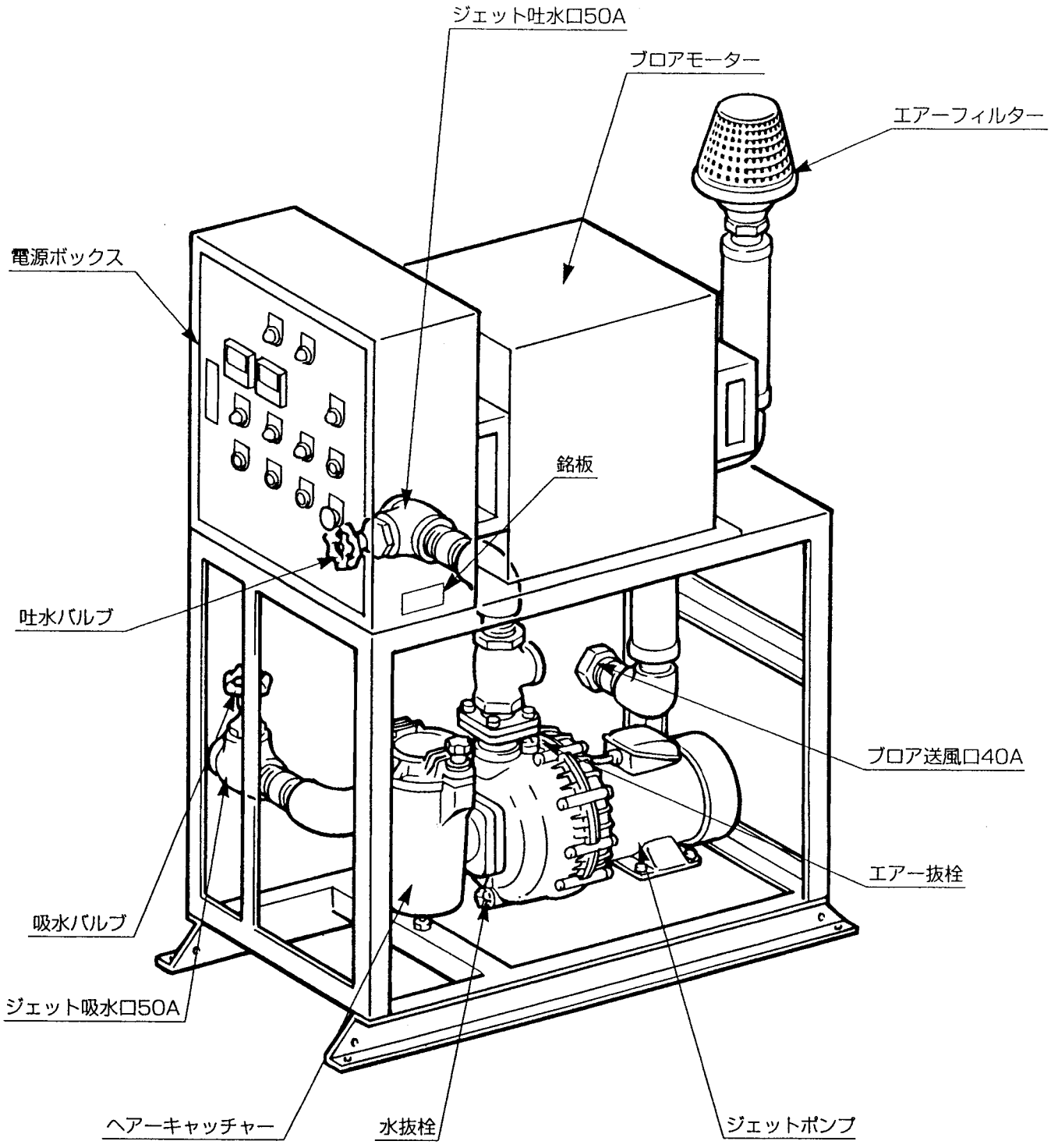
ユニット内に水がない時やジェット吸水口がタオルなどでふさがれた場合、圧力の異常を感知して自動的に緊急停止します。

美しさを表現する水中ライト（オプション）

オプションの水中ライトはエアーブローとのコンビにより、浴槽を独特な美しさで包みこみ、ゆったりとした気分を楽しめます。

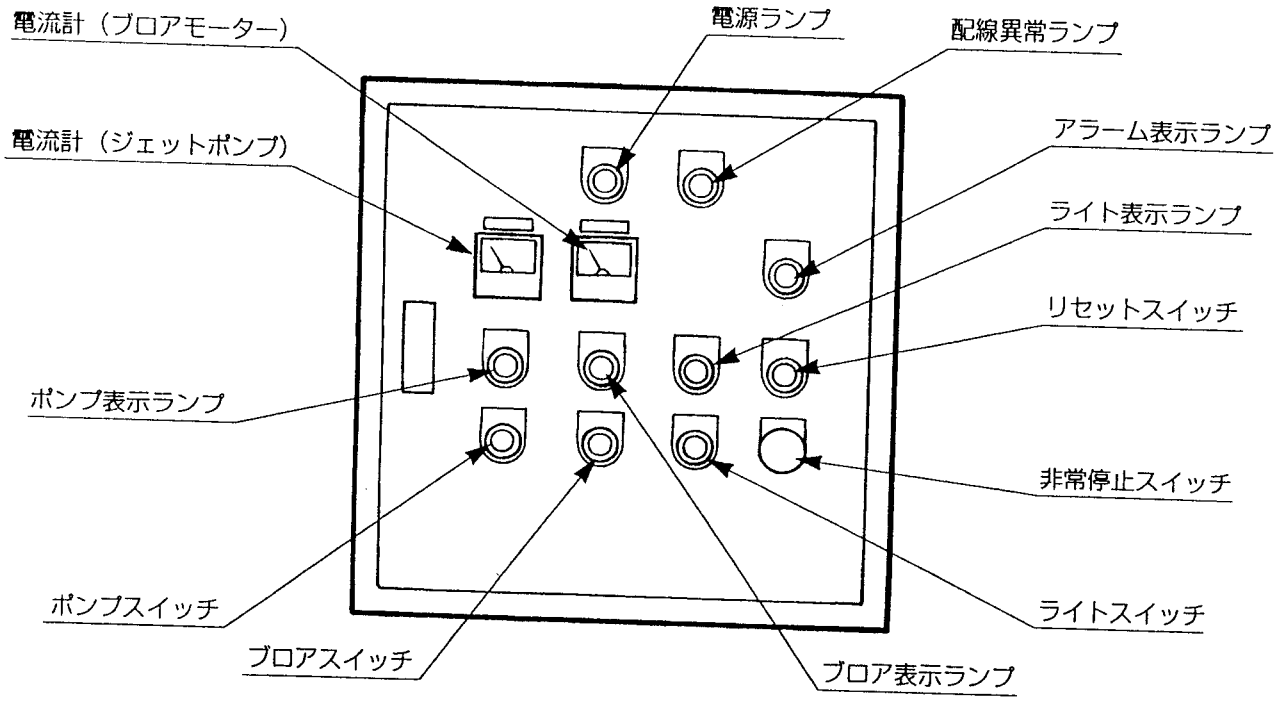


各部の名称

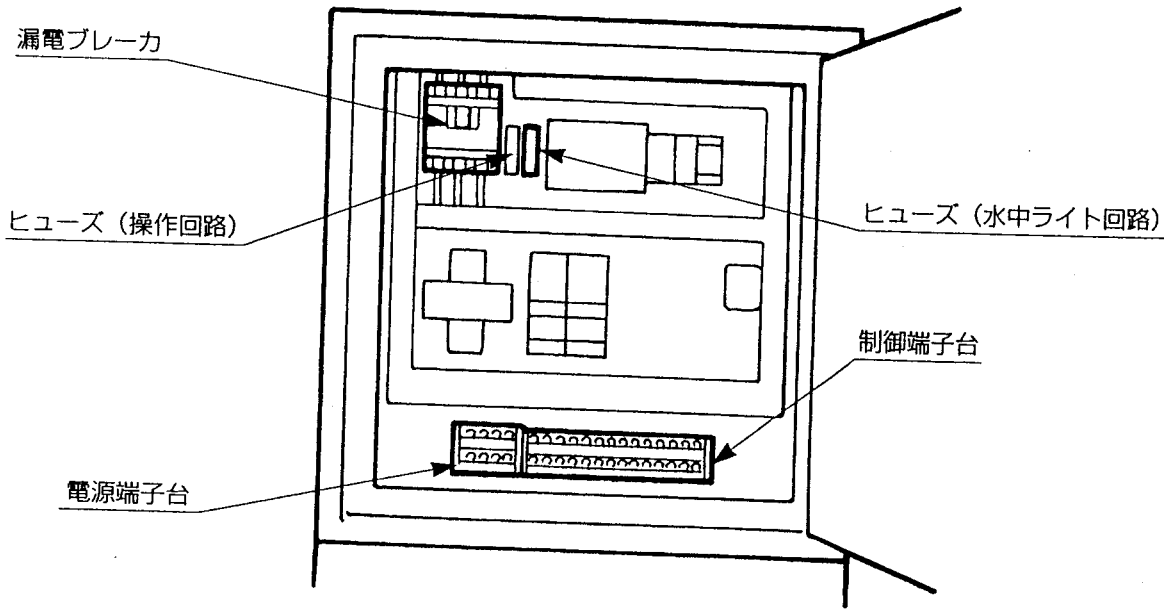

ジェット吐水口50A
ブロアモーター
エアーフィルター
電源ボックス
銘板
吐水バルブ
ブロア送風口40A
エアー抜栓
吸水バルブ
ジェット吸水口50A
ヘアーキャッチャー
水抜栓
ジェットポンプ

■電源ボックス部

《 表 面 》



《 内 面 》



安全のため必ずお守りください

ここではお客様が気泡ユニットを安全にご使用していただくために、人身事故や家財の損害を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
ご使用する前にこの項目をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
※浴槽・温水ボイラー等付帯する機器や部品を使用する場合は、各々の機器や部品の取扱説明書、および本体の注意表示にそってご使用ください。

用語および記号の説明

⚠ **警告** …… 「取扱いを誤ると、死亡または重傷を負う危険な状態が生じる可能性が想定される」内容です。

⚠ **注意** …… 「取扱いを誤ると、傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる可能性が想定される」内容です。

…… 気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

…… 行ってはいけない「禁止」の内容です。

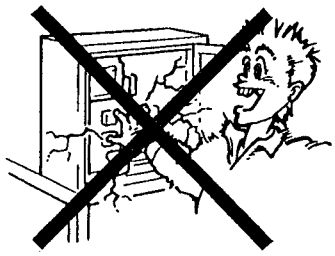
…… 分解してはいけない「禁止」の内容です。

…… 必ず実行していただく「強制」の内容です。

…… 必ずアースを接続していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

電源ボックス内では、漏電ブレーカ以外のものを操作したり、触れたりしないでください。
※**感電・火災の恐れ**があります。



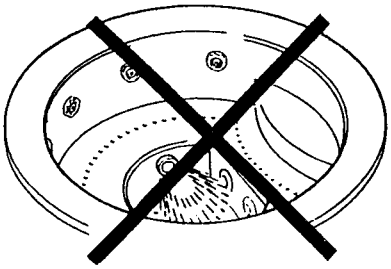
水につけたり、水をかけないでください。
※**ショート・感電の恐れ**があります。

気泡ユニットが設置されている場所で、排気ガス等の有害なガスを発生させないでください。
※ジェットのエアーをエアーフィルターから取り入れているため、入浴されている方が**ガス中毒になる恐れ**があります。

⚠ 警告

当社指定の取扱店以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※**異常動作してケガをしたり、感電・火災の恐れ**があります。
故障と思われる場合は、お求めの取扱店またはお近くの当社支社やお客さま相談室等へご相談ください。

〔水中ライトを設置されている場合〕
水中ライトは、必ず浴槽水がある状態で点灯してください。
※ライトが高温になり、**ヤケドをしたり**、パッキンが劣化して漏水し、**感電する恐れ**があります。またランプが破裂して**ケガをする恐れ**があります。



お手入れをする場合は、漏電ブレーカを「OFF」にしてから行ってください。
※**ケガをしたり、感電の恐れ**があります。

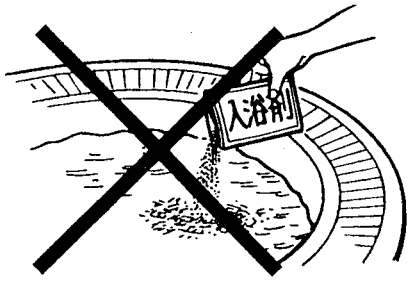
気泡ユニットのアース工事（第3種接地工事）が行われていることを確認してください。
※アース工事が行われていないと、故障や漏電のときに**感電する恐れ**があります。
行われていない場合やご不明な点がある場合は、お求めの取扱店にお問い合わせください。

〔水中ライトを設置されている場合〕
電気設備技術基準第247条および内線規定640節に従って、水中ライトのアース工事（特別第3種接地工事）、水中ライト用電源装置のアース工事（第1種接地工事、第3種接地工事）が行われていることを確認してください。
※アース工事が行われていないと、故障や漏電のときに**感電する恐れ**があります。
行われていない場合やご不明な点がある場合は、お求めの取扱店にお問い合わせください。

浴槽・温水ボイラー等付帯する機器や部品を使用する場合は、各々の機器や部品の取扱説明書、および本体の注意表示にそってご使用ください。
※取扱いを誤ると、**故障・ショートや感電・火災等思わぬ事故の恐れ**があります。

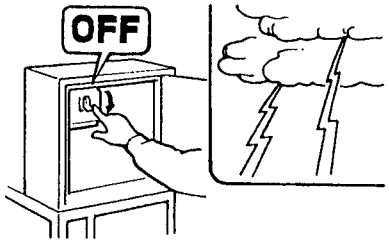
⚠ 注意

入浴剤や温泉水、塩水を使用しないでください。
※配管部などを傷め、**漏水や機能不良の原因**となります。



銘板に表示してある電圧と周波数以外の電源は絶対に使用しないでください。
※**故障したり、火災の恐れ**があります。

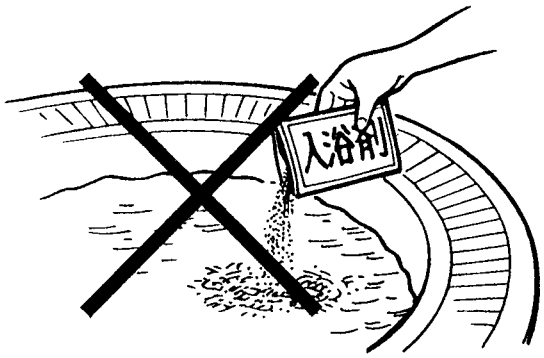
雷が近くで発生しているときは、漏電ブレーカを「OFF」にして電源を切ってください。
※**故障や火災等事故につながる場合**があります。



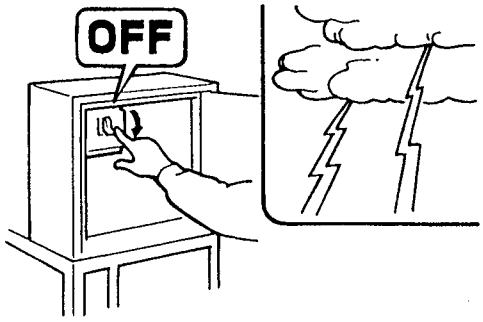
凍結の恐れがある場合は、必ず気泡ユニット内のお湯を全て排水してください。
※凍結破損により、**漏水や機能不良の原因**となります。

故障を起こさないためにお守りください

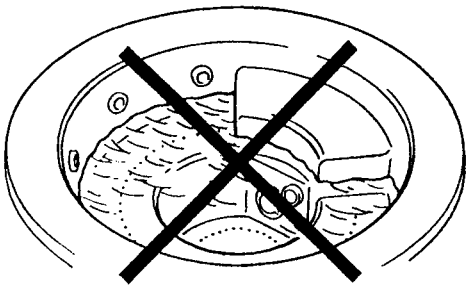
入浴剤や温泉水、塩水を使用しないでください。
※**機能を損ね、装置寿命が短くなる場合**があります。



雷が近くで発生しているときは、漏電ブレーカを「OFF」にして電源を切ってください。
※**故障につながる場合**があります。



浴槽の湯量が減ってきたら補給し、常にジェット噴射口より10cm以上に水位があるようにしてください。
※浴槽にお湯がなかったり、少ない状態で運転しますと**ポンプが停止したり、ジェット噴流が浴槽外に飛び散る場合**があります。

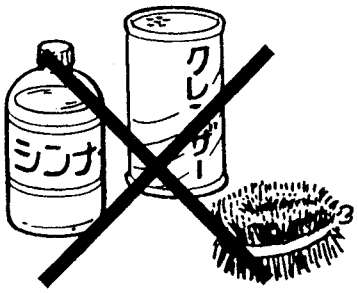


凍結の恐れがあるような冬期の夜間には、必ず気泡ユニット内のお湯を全て排水してください。
※**気泡ユニットを傷める場合**があります。

ヘアーキャッチャーは1週間に1度ぐらいを目安にして、定期的に清掃してください。
※ジェットが弱くなるなどの**機能不良の原因**となります。

お手入れの際、次のものは使用しないでください。
- ●酸性・アルカリ性の薬品類。
- ●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール・漂白剤または塩酸等の薬品や油類。
- ●クレンザー・磨き粉およびサンドペーパー等粒子の粗い研磨剤やタワシ。

※光沢を失わせ**キズをつけたり、変色等の原因**になります。



入浴者にお知らせしていただきたいこと

■安全のためにお守りください

安全に使用していただくため、管理される方は入浴される方に次のことをお守りいただくよう、お伝えください。
また、安全に使用していただくために、ご使用になられる浴槽の取扱説明書も併せてよくお読みになり、注意事項を入浴される方に説明してください。

⚠ 警告

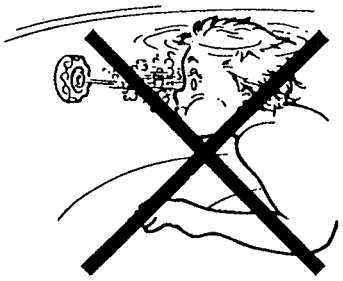
次の方は入浴しないでください。
- ●泥酔された方。
- ●睡眠薬を使用された方。
- ●妊娠されている方。
- ●心臓疾患のある方や持病のある方。
- ●肝臓病、脳内出血、心筋梗塞、極度な貧血の方。
- ●体調の悪い方。
- ●乳幼児。

※**気分が悪くなったり、体調が悪化する恐れ**があります。
※転倒して**おぼれたり、ケガをする恐れ**があります。

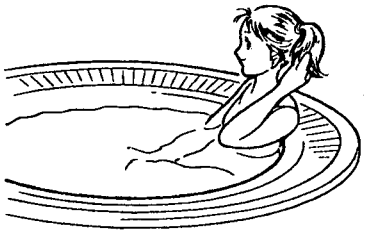
浴槽にもぐらないでください。
※吸水口に髪の毛や身体が吸い寄せられ、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。

吸水口カバーを外して使用しないでください。
※吸水口に髪の毛や身体が吸い寄せられ、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。

ジェットの気泡を顔に直接当てないでください。
※目や耳に**炎症をおこしたり**、目に異物が混入した場合は**失明する恐れ**があります。

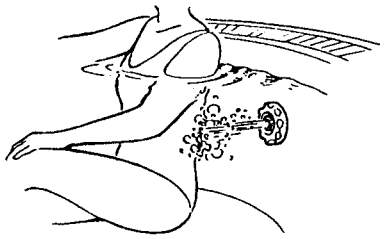


長い髪の方は束ねてから入浴してください。
※吸水口に髪の毛や身体が吸い寄せられ、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。



⚠ 注意

ジェットを身体の同じ部分に当て続けないでください。
※かゆくなることがあります。

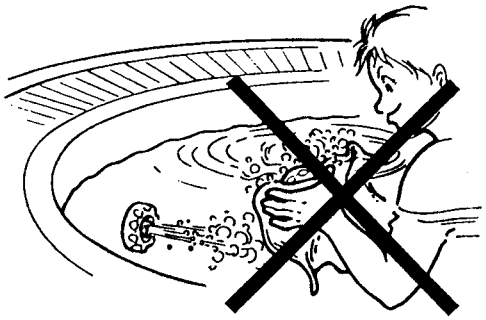


10分以上の入浴をしないでください。
※長時間使用すると、**心臓に負担をかける恐れ**があります。

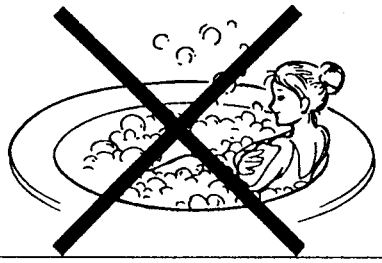
■故障を起こさないためにお守りください

故障を起こさないため、管理される方は入浴される方に次のことをお守りいただくよう、お伝えください。

吸水口、噴射口をタオルや手足などでふさがないでください。
※自動停止機能により、**ポンプが停止したり、故障する場合**があります。



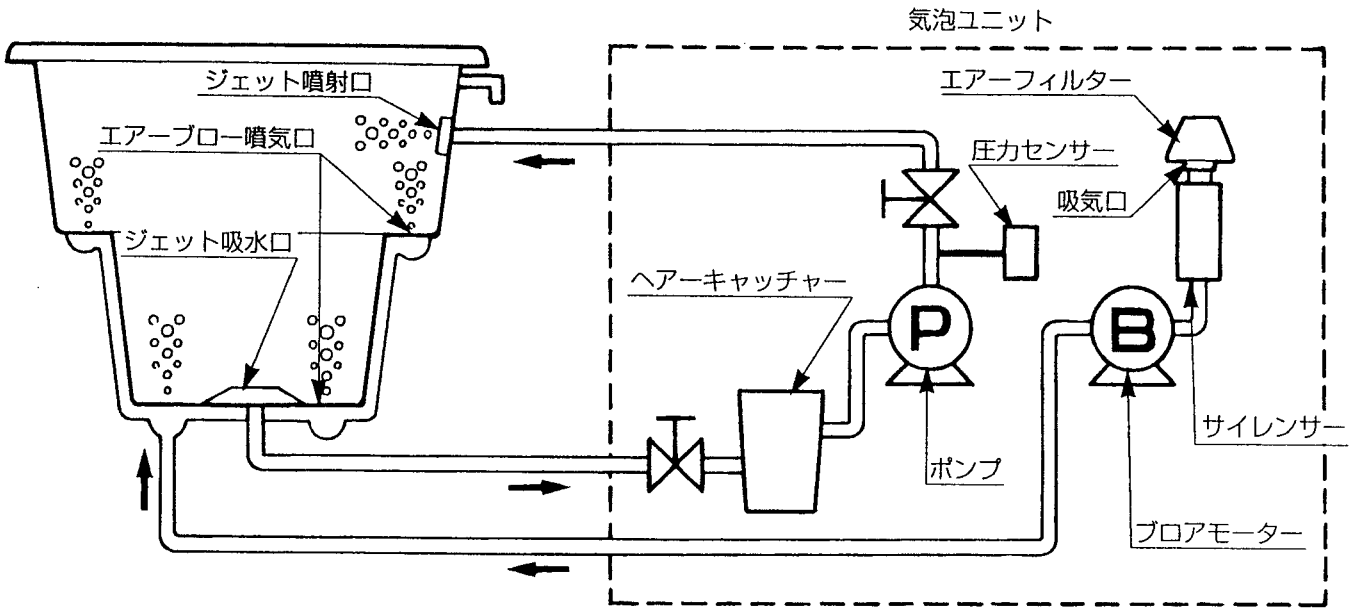
浴槽内で石けんのご使用はおやめください。
※多量の泡が発生して**故障する場合**があります。



浴槽内にタオルや玩具類を持ち込まないでください。
※吸水口に異物が吸い寄せられ、**故障する場合**があります。

作動原理

気泡ユニットは次のような機器で構成されています。



■ジェット噴流のしくみ

1. 浴槽のお湯はポンプにより、まずヘアーキャッチャーを通って髪の毛などの大きな汚れが取り除かれます。
2. お湯はポンプを通り、浴槽へ戻されます。ポンプの吐水側には圧力センサーが組み込まれており、水圧が大きく減少すると異常事態（吸水口がふさがれている）と判断し、非常停止します。
3. 浴槽へ戻されたお湯はジェット噴射口で空気（気泡）を取り入れ、勢いよく浴槽内へ噴出します。

■エアーブローのしくみ

1. ブロアモーターにより、気泡ユニット周りの空気が取り込まれます。この時、吸気口にあるエアーフィルターにより、チリやホコリが取り除かれます。
   また、吸い込まれる時の騒音はサイレンサーによって、一定レベルまで抑えられます。
2. 吸い込まれた空気はブロアモーターで圧縮され、浴槽へ送り込まれます。
3. 空気は浴槽底面の穴より、気泡となって吹き出します。

ご使用前に

ご使用する前には下記の項目を必ずご確認ください。

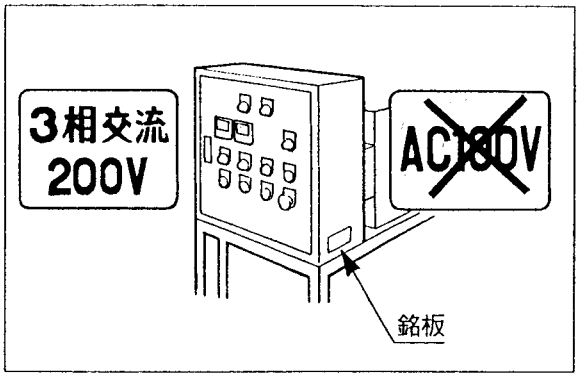
■使用する電源はOKですか？

使用する電源の電圧と周波数を確認してください。

⚠ 注意

銘板に表示してある電圧と周波数以外の電源は絶対に使用しないでください。

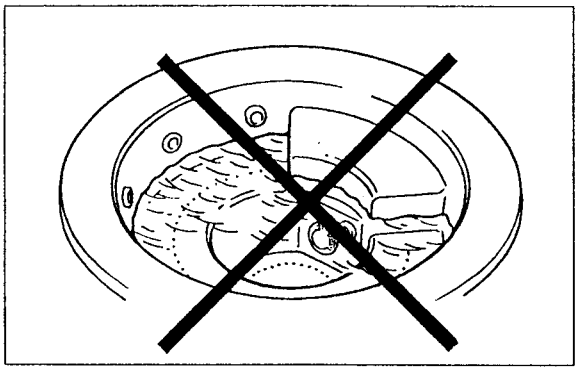
※**故障したり、火災の恐れ**があります。



■浴槽に水（湯）は入っていますか？

浴槽内に水（湯）がジェット噴射口より10cm以上入っていることを確認してください。

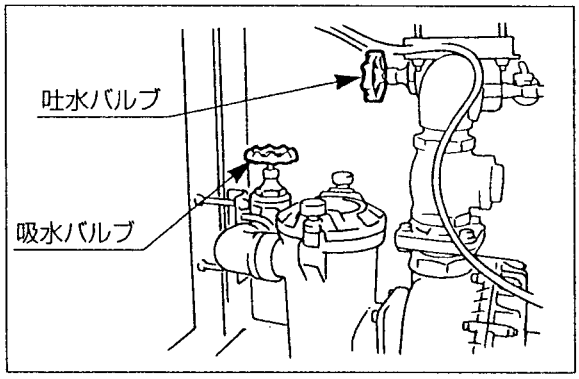
※浴槽に水（湯）がなかったり、少ない状態で運転しますと、**ポンプが停止したり、ジェット噴流が浴槽外に飛び散る場合があります。**



■バルブは開いていますか？

ジェット用ポンプの吸水バルブ、吐水バルブが両方とも開いていることを確認してください。

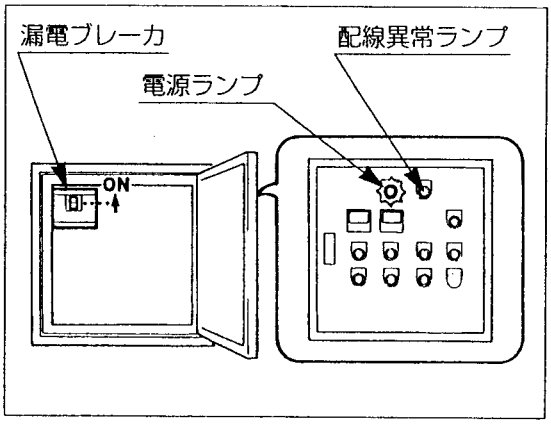
※バルブが開いていない状態で運転しますと、**ポンプが故障**します。



ご使用方法

1．電源の入／切

電源の入／切は、電源ボックス内の漏電ブレーカのスイッチを「ON」／「OFF」にして行います。
（「ON」時は電源ランプが点灯して、各機能の運転が行えます。）

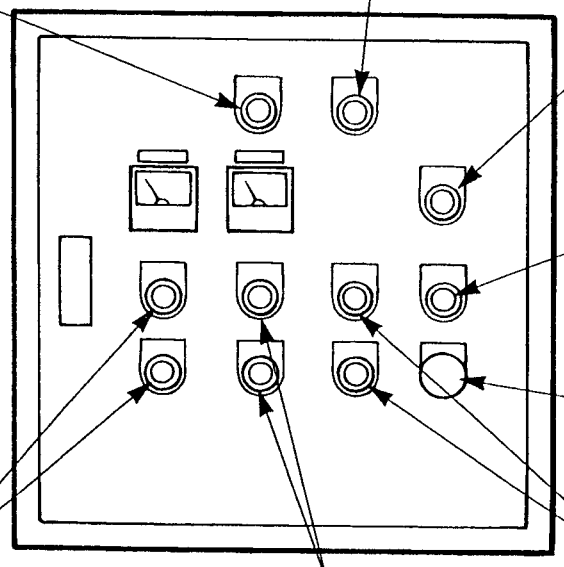


⚠ 警告

電源ボックス内では漏電ブレーカ以外のものを操作したり、触れたりしないでください。
※**感電・火災の恐れ**があります。

ご注意 漏電ブレーカのスイッチを「ON」にしたとき配線異常ランプが点灯した場合は、ただちに漏電ブレーカを「OFF」にして電気工事店へ連絡してください。

2．各機能の運転と停止



電源ランプ
漏電ブレーカを「ON」にすると点灯します。

配線異常ランプ
電源の配線が間違っていると点灯します。（☞17ページ）

アラームランプ
機能に異常が生じた時、点灯します。（☞17ページ）

リセットスイッチ
スイッチを押すと、異常を生じて停止していた各機能を復帰させます。

非常停止スイッチ
スイッチを押すと、ジェット・ブロア・水中ライトの機能は全て止まります。

ポンプスイッチおよび表示ランプ
スイッチを押すと、ランプが点灯し、浴槽からジェット流が噴出します。停止する場合は再度このスイッチを押します。

ブロアスイッチおよび表示ランプ
スイッチを押すと、ランプが点灯し、浴槽底から気泡が噴出します。停止する場合は再度このスイッチを押します。

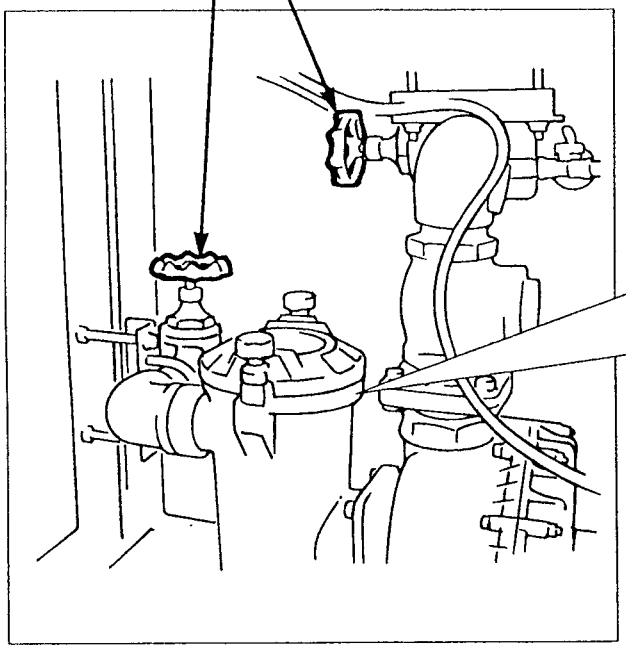
ライトスイッチおよび表示ランプ（オプション）
スイッチを押すと、ランプが点灯し、水中ライトが点灯します。消灯する場合は再度このスイッチを押します。

お手入れ

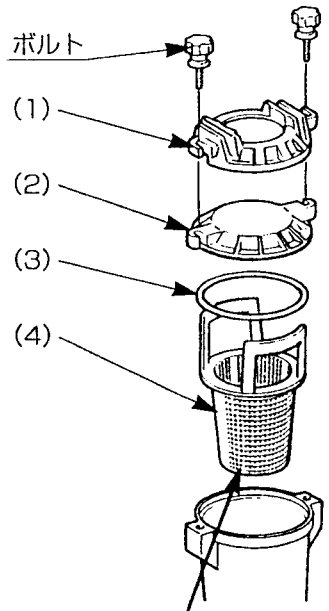
■ヘアーキャッチャー

気泡ユニットにはヘアーキャッチャーが取り付けられています。入浴者数にもよりますが、１週間に１度ぐらいを目安として、定期的に清掃してください。

1 吸水バルブ、吐水バルブをしっかりと締めます。



2 ボルトを外し、以下の順で取り外します。
(1)フタカバー
(2)フタ
(3)Oリング
(4)ヘアーキャッチャー

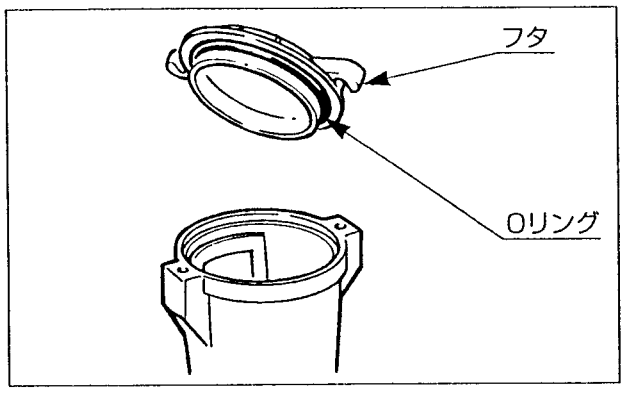


3 ヘアーキャッチャーに付いているゴミ等を水洗いなどできれいに掃除します。

取付けは逆の手順です。

ワンポイント

Oリングはあらかじめフタにはめてから取り付けると、簡単にしかもきちんと取り付けることができます。



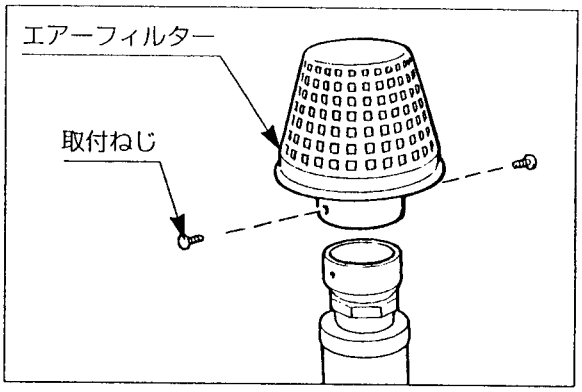
■エアーフィルター

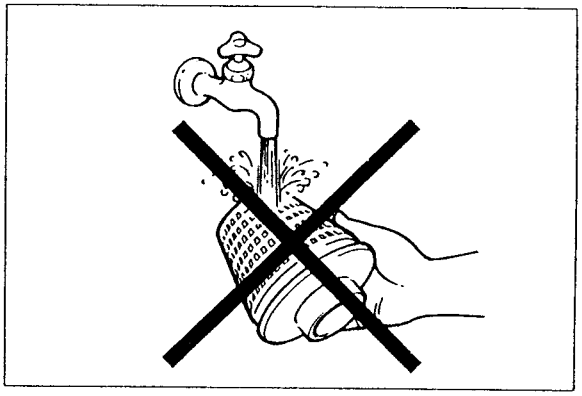
ブロアモーターの吸気口にはエアーフィルターが装着されています。気泡の出方が弱くなったときは、エアーフィルターが汚れている可能性があります。汚れている場合は以下のようにして清掃してください。

(1)取付ねじ2本を外し、エアーフィルターを取り外します。
(2)エアーフィルターを軽くたたくか、掃除機を使って汚れを取り除きます。
(3)エアーフィルターを取付ねじ2本で固定します。

ご注意

エアーフィルターは水洗いしないでください。
もし水洗いした場合は、しっかりと乾かしてから取り付けてください。
※モーター内に水滴がたまると**故障する場合**があります。





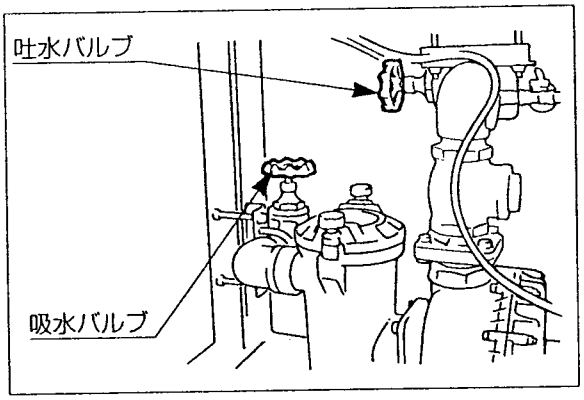
凍結の恐れがある場合

■凍結の恐れがある場合

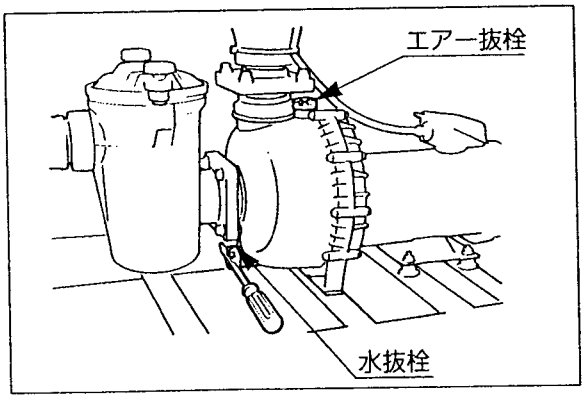
凍結の恐れがある場合は、以下の作業を行って凍結破損を防止してください。

> ⚠ 注意
>
> 凍結の恐れがある場合は、必ず気泡ユニット内のお湯を全て排水してください。
> ※凍結破損により、**漏水や機能不良の原因**となります。

(1)漏電ブレーカを「OFF」にします。
(2)浴槽内の水を排水します。
(3)気泡ユニット内の吸水バルブ、吐水バルブを全開にします。



(4)ドライバー等を使用してジェットポンプの下側にある水抜栓と上側にあるエアー抜栓を開き、ポンプ内の水を全て排水します。



■長期間使用しない場合

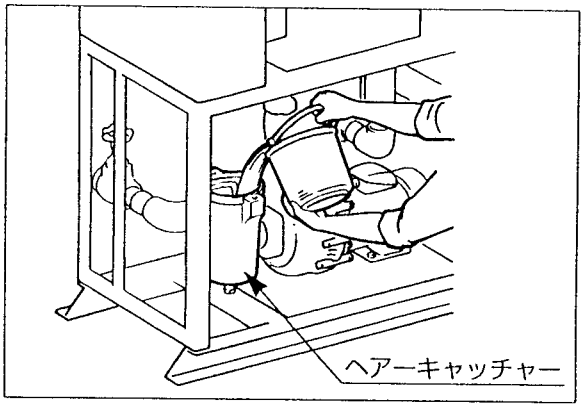
長期間使用しない場合、気泡ユニット内の水が汚れたり、冷え込みが厳しいと水が凍って破損する場合があります。凍結の恐れがある場合と同様に、上記の方法で気泡ユニット内の水を全て排水してください。

■再び使用する場合

長期間使用しなかった後、再び使用する場合は以下の通りにしてください。

(1)気泡ユニット内のバルブを全て閉じます。

(2)ヘアーキャッチャーのフタを開け、水（呼び水）を入れて再びフタを閉めます。

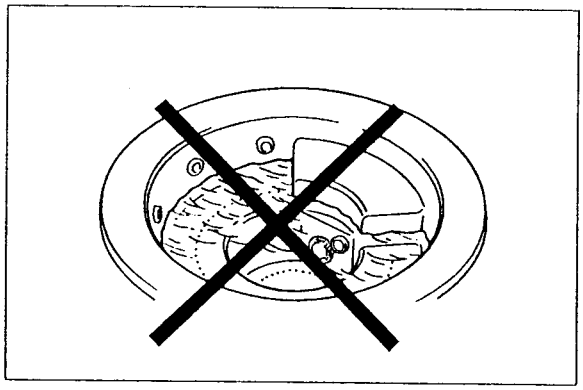


(3)浴槽へ水（湯）を入れます。

ご注意

浴槽の水（湯）量は、ジェット噴射口より10cm以上に水位があるようにしてください。

※浴槽に水がなかったり、少ない状態で運転しますと**ポンプが停止したり、ジェット噴流が浴槽外に飛び散る場合**があります。

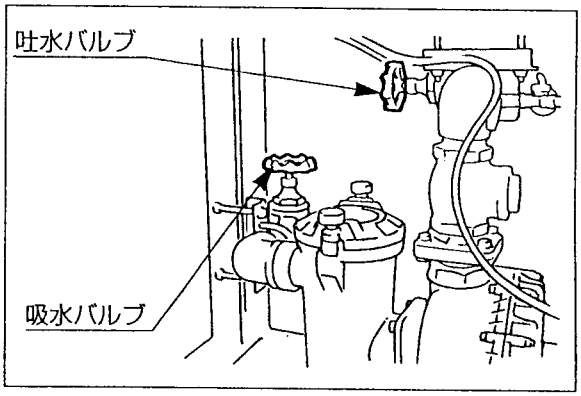


(4)吸水バルブ、吐水バルブを全開にします。

(5)漏電ブレーカを「ON」にして、ポンプスイッチを押します。

ご注意

ポンプスイッチを押した時、アラームランプが点灯してポンプが停止した場合は、リセットスイッチを押してからポンプスイッチを押し、ポンプが連続して運転するまでくり返してください。
（配管条件により最大10回程度）



(6)必要に応じて各運転操作を行います。

故障かなと思ったら

使用中に停止または通常と異なった状態になったときは、ただちに使用を中止してください。また、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
どのスイッチを押しても作動しない。	電源が入ってない。	漏電ブレーカを「ON」にします。 (12ページ参照)
	ヒューズ（左側）が切れている。	修理を依頼してください。
漏電ブレーカを「ON」にすると配線異常ランプが点灯する。	電源の配線が間違っている。	修理を依頼してください。
ポンプ（噴射）スイッチを押してもポンプが動かない。	ジェットポンプが故障している。	修理を依頼してください。
ポンプ（噴射）スイッチを押してポンプが5秒後に停止する。 (アラームランプ連続点灯)	吸水バルブ、吐水バルブが開いていない。	吸水バルブ、吐水バルブ両方を開きます。 (11ページ参照)
	浴槽の水位が不足している。	浴槽のジェット噴射口より10cm以上まで水（湯）を入れます。
	気泡ユニットと浴槽の距離が遠い、または気泡ユニットの位置が高い。	ポンプスイッチ「ON」→リセットスイッチ「ON」→ポンプスイッチ「ON」 を数回繰り返します。(最大10回程度)
ポンプ運転中に自動停止する。 (アラームランプ1秒周期点灯)	ヘアーキャッチャーが完全に目詰まりしている。	ヘアーキャッチャーを掃除します。 (13ページ参照)
	浴槽のジェット吸水口がタオルなどでふさがれている。	ふさいでいる異物を取り除きます。
浴槽の噴流が弱い。	浴槽の流量調節が「閉」になっている。 (当社スカンジスパをご使用の場合)	流量調節を「開」に設定します。
	ヘアーキャッチャーが目詰まりしている。	ヘアーキャッチャーを掃除します。 (13ページ参照)
ジェットポンプから水が出ている。	ジェットポンプのメカニカルシールが破損している。	修理を依頼してください。
ブロア（気泡）スイッチを押してもブロアモーターが動かない。	ブロアモーターが故障している。	修理を依頼してください。
ブロア（気泡）スイッチを押してブロアモーターは動くが気泡が出ない。	配管途中のバルブが閉まっている。	バルブを開きます。
ブロア（気泡）スイッチを押してブロアモーターは動くが気泡が弱い。	エアーフィルターが目詰まりしている。	エアーフィルターを掃除します。 (14ページ参照)
ブロア運転中に自動停止する。 (アラームランプ1秒周期点灯)	エアーフィルターが完全に目詰まりしている。	エアーフィルターを掃除します。 (14ページ参照)
水中ライトが点灯しない。	電球が切れている。	電源を切り、電球を交換します。
	ヒューズ（右側）が切れている。	修理を依頼してください。

※アラームランプが点灯（点滅）している場合は、処置を行った後リセットボタンを押して、アラームランプが消灯することを確認してください。また、再起動できることも確認してください。

修理には特別な知識が必要です。必ず、お求めの取扱店またはお近くの当社支社やお客さま相談室等にお問い合わせください。

⚠ **警告**

当社指定の取扱店以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※**異常動作してケガをしたり、感電・火災の恐れ**があります。

アフターサービスについて

■この商品は保証書付です。

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は使用開始より1ヶ年、ただし現場への納入後2ヶ年を超えない範囲です。
※保証期間中でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

■修理を依頼されるときは再度本書を読んでいただきご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの取扱店に修理を依頼してください。

《連絡していただきたい内容》

- おなまえ・おところ・電話番号
- 商品名・品番・使用開始年月日・現場納入年月日（保証書をご覧ください）
- 故障内容・故障の状況
- 訪問希望日

※保証期間内は保証書の規定に従って修理させていただきます。
※保証期間が過ぎているときは、修理によって機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理致します。補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6ヶ年です。補修用性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービス等についてご不明な点がありましたら、取扱店または当社支社やお客さま相談室等（連絡先は裏表紙に記載）へお問い合わせください。

仕様

ジェット機能		連続噴出
エアーブロー機能		連続噴出
異常検知装置		配線異常、水位異常、ポンプ圧力異常
安全装置		漏電遮断器
設置方法		屋内設置型
常用最高水温		45℃
配管条件		浴槽からの総延長10m以内・5曲り以内・高低差2.5m以内
電源電圧		3相交流　200 V　　50/60 Hz
定格消費電力		3.2 kW/50Hz、　　2.7 kW/60Hz
過電流遮断器		定格作動電流　30 A
漏電遮断器		定格作動電流　30 mA　0.1s以下
外形寸法(mm)	電源ユニット	500×200×500
	気泡ユニット	1190×500×1330/50Hz、1190×500×1340/60Hz
質量		162 kg/50Hz、　　152 kg/60Hz
ジェットポンプ	型式	横型自吸式
	定格使用点	Q =240 L/min（揚程10m時）
	定格消費電力	1.51 kW
	定格出力	3相交流　200 V　1.1 kW　50Hz、60Hz専用
	保護装置	吸水口閉塞時自動停止装置、過電流保護装置、 空運転防止（圧力検知）
ブロアモーター	型式	リングブロー
	定格使用点	Q =2.4 m³/min（50 Hz時）、Q =1.8 m³/min（60 Hz時） （静圧　6.865kPa）
	定格消費電力	1.70 kW/50Hz、　　1.2kW/60Hz
	定格出力	3相交流200 V　1.3 kW（50 Hz時）、0.85 kW（60 Hz時）
	保護装置	過電流保護装置
水中ライト（オプション）		定格消費電力：12 V　50 W
取出口	ジェット吸水口	50A 砲金フランジ（内ネジ）
	ジェット吐水口	50A 砲金フランジ（内ネジ）
	エアーブロー送風口	40A 鋳鉄フランジ（内ネジ）

株式会社 INAX

本　　社 ☎0569-35-2700　札幌支社 ☎011-271-1701　東北支社 ☎022-263-1710
東京支社 ☎03-5541-7111　西東京支社 ☎0425-27-3341　横浜支社 ☎045-242-1710
千葉支社 ☎043-227-8171　埼玉支社 ☎048-668-1177　東関東支社 ☎0286-37-3378
関越支社 ☎0273-27-1793　甲信支社 ☎0263-36-2166　名古屋支社 ☎052-201-1717
静岡支社 ☎054-251-1710　北陸支社 ☎0762-64-1710　大阪支社 ☎ 06-539-3500
京滋支社 ☎075-222-1794　広島支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎0878-21-1701
福岡支社 ☎092-471-1710　南九州支社 ☎096-322-1794

●ショールームとお客さま相談室のご案内

札幌―011-271-1710　青森―0177-74-2345　仙台―022-265-1710　郡山―0249-22-7503
水戸―0292-27-1718　高崎―0273-25-1257　宇都宮―0286-34-2133　大宮―048-651-1791
銀座―03-5250-6560　新宿L21―03-3340-1700　千葉―043-222-1701　横浜―045-242-9290
松本―0263-36-7410　岐阜―058-276-1711　静岡―054-251-1701　名古屋―052-201-1715
津―0592-26-1715　新潟―025-228-1701　金沢―0762-62-1701　京都―075-231-1716
奈良―0742-35-3894　大阪― 06-532-4001　神戸―078-361-6680　岡山―086-222-0155
徳島―0886-26-1703　松山―0899-31-5730　高松―0878-21-1782　広島―082-227-1701
松江―0852-31-6038　山口―08397-3-2424　福岡―092-471-1700　熊本―096-322-1894
鹿児島―0992-27-1755

東京お客さま相談室―03-5381-1799　名古屋お客さま相談室―052-201-1733
大阪お客さま相談室―06-539-3504

取扱店

GPB-0015(95080)